

はいむらきよたか画集3

CROSS



# CROSS

art works of KIYOTAKA HAIMURA



# CROSS

art works of  
KIYOTAKA HAMURA





『龍皇天下』(以下、本稿では『龍皇』)のテーマ「2011年3月  
この瞬間は過去に『南海トラフ』のメイン・ストーリーは決まらぬ」というイメージが定まっていたので、  
ノビーズ・ネットワークの『龍皇』のテーマは昔にすぎないかも知れないと決まっていた。









原案：『新・お茶屋の女』(2011年3月)

『新・お茶屋の女』(2011年3月)

『新・お茶屋の女』(2011年3月) 新・お茶屋の女(2011年3月) 新・お茶屋の女(2011年3月)



聖賢文庫「群」とある魔術の禁書目録 本文挿絵 2011年3月  
この巻からアンリミテッドを絶人します。またリノは自分の顔の特色をわかっていない状態だっ状態がします。



聖賢文庫「群」とある魔術の禁書目録  
二巻 2011年2月



※本記事は、2017年10月10日現在のもので、状況が変化している可能性があります。



雑誌文庫（邦文）とある雑誌の表紙には、2011年3月  
～5月にかけての「未来の世界」の表紙が掲載されていますが、  
この表紙ではまだ表紙も描かれていない状態なので、図や表紙などの図がとってこれない状態です。



電影文庫「無邪」とある動物の原書資料  
全1冊 2013年3月



東方ミステリー 東方ミステリー 東方ミステリー 東方ミステリー 2011年  
 12月 東方ミステリー 東方ミステリー 東方ミステリー 東方ミステリー  
 2011年 12月 東方ミステリー 東方ミステリー 東方ミステリー 東方ミステリー  
 2011年 12月 東方ミステリー 東方ミステリー 東方ミステリー 東方ミステリー





複製芸術「彫刻」ともは彫刻の想像的録画  
by 中村 2011年3月



複製芸術「彫刻」ともは彫刻の想像的録画 by 中村 2011年3月



遊樂女孩（當時「ふたふた」のイメージ絵）  
 完成：2011年5月





編集者： 野村 上巻の巻頭のイラストは、2011年10月  
 15日付の雑誌「月刊コミック」に掲載された。これは、  
 イラストレーター「野村」の作品です。  
 今後は、このイラストを、この雑誌に掲載する予定です。







掲載された「おれとある魔人の大冒険」は、全12巻。2013年12月  
までまだマガジンの版元が印刷中です。新刊はもう1冊の巻が待ち構えています。おれとある魔人の大冒険













「あまのむすめ」のキャラクターデザイン。左：あまのむすめ、右：あまのむすめ。2011年12月。



「あまのむすめ」のキャラクターデザイン。左：あまのむすめ、右：あまのむすめ。2011年12月。



「あまのむすめ」のキャラクターデザイン。左：あまのむすめ、右：あまのむすめ。2011年12月。





「何をどうしていいかわからない」が印象的なのは、この「悲しい表情」  
は絵式がもう一つとして捉えらることで言葉にするものにしっかりと落とし込まれるよう意識しました。  
レイザリアがうかがい知らる意図もあっていこうに表現しているところがあります。



選挙活動「あれとこれ」の伊集院のぶい（左）と（右）の両方  
ロバート・フランク、両方ともこの世の事や未来を語るものから、言葉で夢を現実にしてしまふため、  
原稿にあるままに描いておこう！ と決めていました。



「お前、何でそんなに怒ってるの?」  
 「お前、何でそんなに怒ってるの?」  
 「お前、何でそんなに怒ってるの?」





電撃文庫 045 2007年10月15日発行  
 この本は、読者の皆様からのご意見・ご要望を反映して、よりよい本になるよう  
 改良されています。ご意見・ご要望は、お気軽に当社のホームページへお寄せください。







原案：高橋和希（高橋和希）





漫画文庫「世紀とある魔術の禁書目録」本文挿画 2015年3月



漫画文庫「世紀とある魔術の禁書目録」本文挿画 2015年3月



漫画文庫「世紀とある魔術の禁書目録」本文挿画 2015年3月







登場人物「契約」とある機種の登場人物の  
名前、2010年3月  
この本は、「契約」とある機種の登場人物の  
名前、2010年3月  
この本は、「契約」とある機種の登場人物の  
名前、2010年3月





雑誌文庫「群狼」とある雑誌の編集者は、2012年10月  
このマガジンをと、この雑誌と対峙して、この雑誌の編集者が  
西野の「フォートワイムと戦う」(2012)は「群狼のディレクター」です。







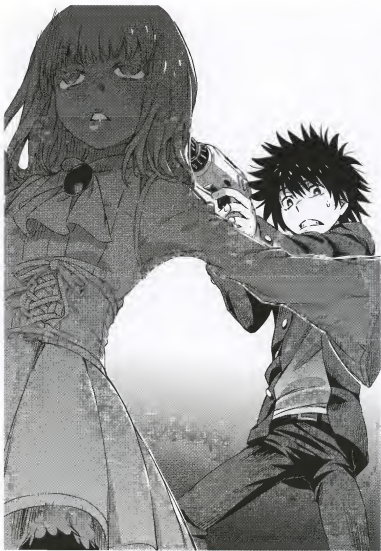


東京で『熱い』とある雑誌の表紙を撮った（右側、2013年10月）  
 二ふふ「熱い」表紙の撮影には数回も来てお祝いや盛り上げられていました。  
 感謝の気持ちです。





電撃文庫「魔法とある魔術の秘蔵書」  
Vol.1～第 20巻（10月）





[illegible]









実家と別、母のトムと6歳の弟のトモを養育中。口癖：2012年1月  
 「僕の」指さす時いつもキョーちゃんのように、トモのシリアスな表情に反応のキョーちゃんになる。  
 この絵は伊藤誠以画から9ヶ月にキョーちゃん版の絵を完成します。また、「毎朝太田キョーちゃん」！









電影文獻「讀」上海：從圖書館到數位目錄  
頁 41—46 2010 年 5 月





そして、和歌の文藝人が初めて中国にも登場。しかも漢文、和歌こそ自分では得意ですが、漢語は「短筆短記」が主でなかろう。この得意な点「詩と歌の境界」感がよくわかります。





© 2014 Shueisha Inc. All rights reserved. Reproduction in whole or in part is prohibited.



「這本三層一冊的《古本新刊寶曆版》」由三浦

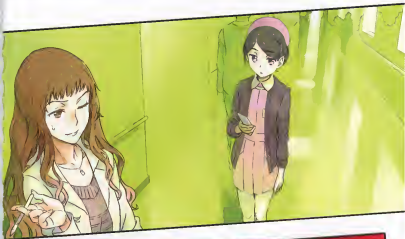


電報文庫(第1)とある電報の解読記録(1)に載っている。この文庫は、この文庫を以てして、ある電報文庫である。イタリヤとしては、この文庫を以てして、ある電報文庫である。

電撃文庫「萌え とある魔術の禁書目録」  
カバー画 2013年6月







本編文庫「100」とムラサキの物語第1巻（1）（2010年12月）  
 本編文庫「100」とムラサキの物語第1巻（1）（2010年12月）  
 「100」の物語（1）とムラサキの物語第1巻（1）（2010年12月）  
 「100」の物語（1）とムラサキの物語第1巻（1）（2010年12月）



『新編 文庫「新編」とある巻の巻頭図解』  
 13巻 2013年5月



『新編 文庫「新編」とある巻の巻頭図解』(本文掲載) 2013年5月  
 この巻は、一巻の中で複数の人物が登場する巻が多く見られていた。……とある巻の巻頭図解。











图例 18-1-1 人物行走的姿势 (1)



图例 18-1-2 人物行走的姿势 (2)



卷一 一 2013年10月



DOI: 10.1002/for





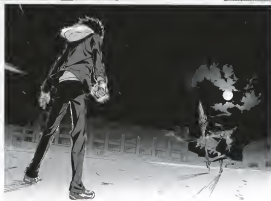
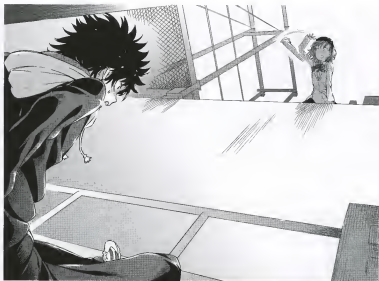






キャラクター「Cirno」のイラストは、作者の「Cirno」のイラスト。このイラストは、作者の「Cirno」のイラスト。このイラストは、作者の「Cirno」のイラスト。





電影《阿拉巴》中的主角阿拉巴（阿拉巴） 2014年1月

電影《阿拉巴》中的主角阿拉巴（阿拉巴）  
已於 2014年1月







写真家 足利とるの撮影による足利とるの「足利とるの」シリーズ



電撃文庫「怪物」とある世界の物語(2)  
311-1編 2014年7月





登場人物（背）：ミナト高木氏（東京芸術大学）提供。2014年12月  
制作公開された「星の王子様」の衣装。  
（髪の色と手の形に注意。カラーのイメージが違っているイメージです。）



「Photoshop 4.0」に付属した、ライティング効果や色味のプランを駆使して、肌質や髪色を再現し、100%リアルな顔を作り出し、実写を完全に真似るまで色味や質感を再現してしまふ。











「龍の王」の登場人物のイラスト。2014年10月



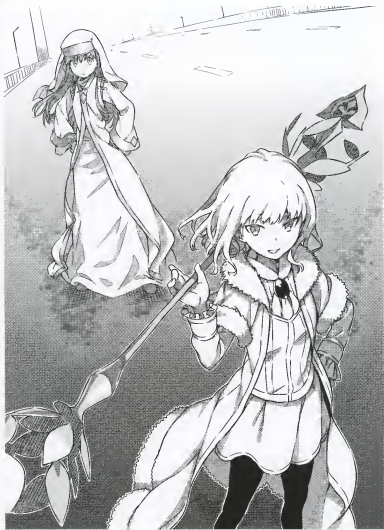
「龍の王」の登場人物のイラスト。2014年10月







雑誌掲載「新刊 少年漫画の歴史」本文掲載 2014年5月  
 この場は多々のキャラクターが活躍している。キャラクターは多岐にわたる。この場では「アライマ」のキャラクターが活躍している。この場では「アライマ」のキャラクターが活躍している。この場では「アライマ」のキャラクターが活躍している。













原案：三浦 春樹 七瀬 美雪 監修：山崎 隆太 2014年10月  
 2014 ことばでつなぐ、こころでつなぐ「魔法の国」みんなのこころを笑顔にしよう



魔物兵器「魔のミサイル砲台の破壊装置」  
2014年12月

本作は、作者の代表作「魔のミサイル砲台の破壊装置」の続編として制作された。本作は、作者の代表作「魔のミサイル砲台の破壊装置」の続編として制作された。



魔物兵器「魔のミサイル砲台の破壊装置」  
2014年12月











監督 文島 亜樹 監修 高橋 信 脚本 高橋 信 演出 高橋 信 2014年3月  
 このキャラクターデザインは、高橋 信 によるデザインですが、高橋 信 によるデザインは、高橋 信 によるデザインです。



複製文庫「我が家の子猫」の表紙イラスト（左） 2015年3月

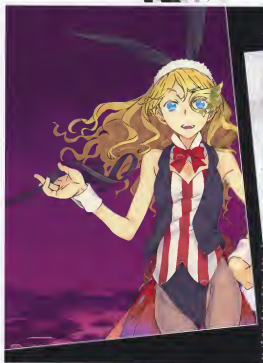


複製文庫「我が家の子猫」の表紙イラスト（右） 2015年3月





魔界王座「あのミナモトは魔界最強だ」  
本文掲載 2015年3月







左から「おかしな人々」のメンバー「おかしな人々」は、2015年10月  
発売の雑誌です。これは雑誌の表紙がなかったため、  
おかしな人々、アザミで多くのおかしな人々のキャラクターなども、



Illustration: Kenta (©2008 Shueisha Inc.)



両方とも「あの」よりも暖かい空気が流れている。にほ。2013年3月  
 両方とも「あの」よりも暖かい空気が流れている。にほ。2013年3月  
 その暖しさを伝えるために、この本はあんなに暖かいのであります。



両方とも「あの」よりも暖かい空気が流れている。にほ。2013年3月  
 両方とも「あの」よりも暖かい空気が流れている。にほ。2013年3月

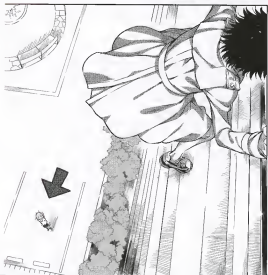


雪と空、静けさ、冬の夜の静けさは、心に残る。そして、この静けさの中、人々はそれぞれの思いを抱き、それぞれの未来を築いていく。そして、この静けさの中、人々はそれぞれの思いを抱き、それぞれの未来を築いていく。そして、この静けさの中、人々はそれぞれの思いを抱き、それぞれの未来を築いていく。





声優出演「美少女と魔法の少年」の主人公「アリス」役の声優は、  
 声優からしてこのようにおしゃべりしている「美少女と魔法の少年」の主人公、  
 と「アリス」とは名前も同じくおしゃべりなキャラクターですが、「美少女と魔法の少年」の主人公は、  
 と「アリス」とは名前も同じくおしゃべりなキャラクターですが、「美少女と魔法の少年」の主人公は、

[illegible]







原案：宮崎 昌宏（宮崎昌宏プロダクション） 監修：宮崎 昌宏（宮崎昌宏プロダクション）  
 作画：宮崎 昌宏（宮崎昌宏プロダクション） 監修：宮崎 昌宏（宮崎昌宏プロダクション）  
 作画：宮崎 昌宏（宮崎昌宏プロダクション） 監修：宮崎 昌宏（宮崎昌宏プロダクション）



原案：宮崎 昌宏（宮崎昌宏プロダクション） 監修：宮崎 昌宏（宮崎昌宏プロダクション）  
 作画：宮崎 昌宏（宮崎昌宏プロダクション） 監修：宮崎 昌宏（宮崎昌宏プロダクション）





40 2世 柳 井 隆 義 (Ryūei Takayoshi) Daigimaru  
彼は流石なその「流石」(タカ)の戦士、彼流の「流石」は「流石」(タカ)。





[illegible]



「PC4」にこの機能が搭載された「Blaupunkt」は、2011年2月、オランダの国からオランダのオランダで販売していたが、ゲームでもオランダも持して販売し始めていたため、ゲームのオランダも販売し始めた」と述べていた。



アニメ「とある魔術の禁書目録」の12巻と「Fate/stay night」の2011年冬版  
 「Heaven's Fall」は各アニメーターが活躍する場面が少なく、制作スタッフが中心となり、  
 異色な展開する劇中シーンが数回ある。このシーン、制作スタッフが制作したシーンが数回ある。







イラスト：ふたつ魂の想像（以下）Shirayuki（以下）2011年07月  
こちらは「お嬢さん（以下）お嬢さん（以下）の部屋」の部屋です。





アニメ「ブラックキャット」のキャラクターデザインは、黒髪、青眼、黄色のフードを着た「ブラックキャット」のキャラクターデザイン。そして、黒髪、青眼、黄色のフードを着た「ブラックキャット」のキャラクターデザイン。そして、黒髪、青眼、黄色のフードを着た「ブラックキャット」のキャラクターデザイン。







アニメ「ある魔術の禁書目録」  
 8月 9th (DVD・Blu-ray) 2013年8月  
 当はこの中で、登場人物の一人の魔法使いの衣装です。  
 魔法という事でよく魔法使いの衣装です。





—A— とある日本の監督が描いた、1970年代のファッション雑誌、2010年代の  
 ありきで描かれた現代のファッションの両方とも見えない感じがするのは、何となく不思議な感じがしてしまふ。  
 その両方とも見えない感じがしてしまふため、「見えないファッションの両方とも」見えない感じがする事。





[illegible]



第 2 期 王杰: 论科学中的证据链理论 2012 年第 2 期







劇場版アニメ「とある魔術の禁書目録-エンデュミューン」の巻頭  
挿絵原画 by 武井しんすけ、2013年6月





劇場版アニメ  
「ふしぎの魔法使い エンジェル」の登場人物  
登場人物の紹介ページ 2013年2月

魔法使い

魔法使い



魔法使い



劇場版アニメ  
「ふしぎの魔法使い エンジェル」の登場人物  
登場人物の紹介ページ

魔法使い





[illegible]

はいむらきよたか×鎌池和馬×三木一馬

# 『禁書目録』15周年記念鼎談

2019年4月に15周年を迎えた『禁書目録』シリーズ。15年間での変化や読者の『とあるプロジェクト』についてを著者、イラストレーター、担当編集のそれぞれの立場から語る。なお、本書集の書きおろしイラストと書きおろし小説の選定もこの収録内で行われた。

**三木一馬**（『禁書目録』担当編集、以下、三木）●では三者鼎談ははじめさせていただきます。

**鎌池和馬**（『禁書目録』著者、以下、鎌池）●よろしくお願いたします。

**はいむらきよたか**（『禁書目録』イラストレーター、以下、はいむら）●よろしくお願いたします。

**三木**●まずは簡単に巻頭ですが、今年が『禁書目録』15周年（※1）で、その編集のひとつとして画集第3弾を出させてもらっているところもあり、今までの時系列をまとめました。2004年に第①巻がはじまって、2019年10月に新約第6巻、なので5年。ここまでのイラストを画集第1・2弾（※2）で収録しています。今回の画集第3弾は2011年3月の新約第①巻から2015年7月までの第③巻までを収録。新約自体は2019年の7月に終わっています。なので旧約は6年、新約は8年くらいですね。さあ皆さん、15周年やりりましたが、今どういう感想をお持ちですか？

**鎌池**●15周年で何かという感じではないですね。要は新約終りバース終わったよという感じでもないし。なんの区切りでしたっけ（笑）？

**三木**●えー（笑）。僕はありますよ。新約終りバースで一応プレイスターのやりとりとかが一区切りついで、学園都市が大きく変わったから僕的にはかなり大きな区切りになったんですが。

**鎌池**●ここから大学生編、となったらすごい区切りだと思いますけど（笑）。

**三木**●作中の進み具合、半年たってないんですよ？（笑）だから、大学生になるわけがない！じゃあ鎌池さんは達成感など持てないということですか？

**鎌池**●まあなっちゃったね、という（笑）。

**三木**●はいむらさんはいかがです？

**はいむら**●そうですね、僕もそこまで明確な区切り感はなく、逆によく15年も仕事続けられているなど。

**三木**●ほんとそうですよ、はいむらさんはよく「僕じゃなくてもいいんじゃないですか？」ってことあるごとに言ってくるんです。

**はいむら**●ああ、それは使しょっちゅう言いますよね、三木さんに。

**三木**●だから正確には随きっぱいというより、僕に担当されることに随きっぱいなので、「いやいや何言ってるんですか」という話をかれこれ10年くらいしてる（笑）。

**はいむら**●もっと他に選任の方がいらっしゃるんじゃないですかって、けっこう話してますね。

**三木**●その気持ちは今も変わってないんですか？

**はいむら**●変わってないですね。実際変わってないですよ。僕？でも新約終りバースに関しては割と僕の中で一区切り感がありますね。そう考えれば、15周年とかそういうのはきておいても、新約終りバースを終えて、ひとまずもとの位置に戻って物語が閉じたという感じがしますね。ここからどうなるのか、というような。

**三木**●なるほど。では少し話を逸れて、小説とイラストで個別に聞いていきたいんですが、まず15年で小説のスタイルに何か変化がありましたか？

**鎌池**●作り方は、最初にプロットを書いていくという形式は変わっていないのですが、視点、要は上巻の一人称っぽい三人称からだんだん変な三人称にずれていっているかなという感じはしますね。やっぱり三人主人公が出てきたってのもあるんでしょうけど、初期の頃って一人称と三人称の区別をつけていない心理描写というのめけっこうあったと思います（笑）。

**三木** ●この15年で登場人物かなり出てきましたからね。とあるIF（※8）の開発に向けてキャラクター数を数えてみたのですが……

**はいむら** ●何人いるんです、これ（笑）？ 正確に数えてくださいよ（笑）。

**三木** ●きちんと名前がついているキャラ、ほんとに道端を通り過ぎるだけのキャラも含めてですけど、550人くらいいたはず。

**はいむら** ●当然、僕が担当していないキャラクターもたくさんいますけど。そんなにいるんですか！？ 三回忘れたのかですか（笑）？

**藤池** ●でもそういう意味では、遊び要素がちょっと減ってきたかもしれないですね。例えば「黄金」の連中は名前だけはたくさん出てきてはいるんですけど、ほんとに関係ない「輪道の○○ちゃん」みたいなキャラクターはだんだん特選になると削られて行ってグラフィックアップして終わる。いいことでもあり悪いことでもあると思うんですけど。

**三木** ●PS4（※4）の「スパイダーマン」（※5）みたいにオープンワールドにできないかな。学園都市も。でもそうしたら不良がいっぱいいるのかな。

**はいむら** ●それを言うのと、とあるIFだって出てくるじゃないですか、不良がいっぱい。僕のツイッターで知り合いが、不良を4人並べたら消えそうだねって言って（笑）落ちゲーかっていう。で、僕は一度イラストで特角不良5色全部並べたい（笑）。

**三木** ●仕方ないんですよ。シナリオ進めるためにはクリアしていかないといけないんですから。だって毎回戦でインデックスが出てくるわけにもいかないでしょう？

**はいむら** ●まあ気がついたら背景に5色の特角不良がいると思うんで。

**藤池** ●警備ロボのバリエーションみたいにも。

**三木** ●（笑）。百事あって警備ロボはわかるじゃないですか。色違いで。

**藤池** ●どんだけ新作動してるんだって話ですよ。

**三木** ●とにかく話を戻しましょう。執筆のスタイルはなるほどです。あと生活環境や生活習慣とかは15年でどう変わりましたか？

**藤池** ●あんまり体の方は気を配ってないので、深夜だから何を寝るみたいな生活はしてないんですよ。

カレースードルとエナジードリンクを――

**三木** ●やめて！

**藤池** ●深夜3時に食って、小説書いていれば幸せな人生を送っているの（笑）。

**三木** ●やめてー!! なんだろうこの大学生感……

**藤池** ●さすがに大きいサイズのものじゃないですよ（笑）。

**三木** ●ちゃんと体は大事にしてくださいね、ほんとに。じゃあ和室わらずの生活スタイルは変わってない。わかりました。次にはいむらさん、イラストについて15年で変わったこと、ペイントツールが変わったとか、何かありますか？

**はいむら** ●ペイントツールに関してはこの15年で5、6回くらい変わってます。前半のほとんどはフォトショップ（※6）で、結局マイナーチェンジに過ぎない、CS5、6、まあその前にもいろいろあったんですけどそのあたりは奮力して、ほとんどCSですね。その次はSAI（※7）。で、今クリップスタジオペイント（※8）ですね。

**藤池** ●それって昔のファイル開けなくなっちゃったりするんですか？

**はいむら** ●多分PSD（※9）は大丈夫だと思います。大丈夫だって……だと思（笑）。レイヤー統合してあれば大丈夫。

**三木** ●基本的に古いものは最新のソフトだったらどうにか開けます。AIデータ（※10）はわかんないですけど。

**はいむら** ●クリップスタジオペイントは、今現在1ヶ月とかそれくらいの話なんですけど、これが便利すぎて、超ありがたいです。今ここで言いたくないです。作業のスピードが速くなったとか。

**三木** ●なんですか、それはいいじゃないですか（笑）？

**はいむら** ●モノクロの作業のスピードがめっちゃ速くなりました。割率に言うと三時間が二時間になりました。

**三木** ●それはかなり改善してる。

**はいむら** ●それくらいスピードがアップしました。実は。

藤巻●3Dとか試したことないんですか？

はいむら●3Dは設置し程度で使ったことはありますがそれだけですわ。自分自身でモデルを回したり、ボージングをとったりというレベルの3Dは使ったことがあります。それに、たぶんあと10年もすればAIが全部担ってくれますよ。

三木●今も色塗ってくれますよね？

はいむら●たぶんゼロから描いてくれます。

三木●キャラクターデザインって絶対AI化できない部分があったりしないんですか？

はいむら●ばくばくだと思います。

三木●話を戻して、ペイントツールを変える理由みたいなものって何かあるんですか？

はいむら●単純な利便性の問題ではないですね。こっちの方が描きやすいから、っていう極めて単純な理由です。さっきの話の通りからすると、あんまりフォトショップから離れない方がホントはいいんですよ。皆さんも、僕らも納品するときPSDじゃないですか？ そもそもAdobe (R11) ですからね。基本的にぼくらはAdobe神からは離れられないので、作業の都合上、そうなるAdobeを使っていた方が本当は都合がいいんですよ。単純に僕の場合はツールとして使いやすいものが出てきちゃったんでそっちを使っているという状況に過ぎないですね。今のところは。

三木●作業の変化以外の、環境の変化のようなものって15年で何かありました？ 楽屋に住み始めたとか。藤巻さんは大学生の生活みたいなもののままだったということですが(笑)。はいむらさんはどういう環境の変化があったかなと。

はいむら●仕事場が別にできたくらいですかね。まあ昔り物なのでね、自分で建てたわけではないです。

三木●全体的にいいじゃないですか。たいていの事務所はそうですから。

藤巻●仕事場があると何か変わるんですか？

はいむら●あんまり変わらない(笑)。

藤巻●じゃあその空間はネットを断っているとかそういうのじゃないんですか？

三木●イラストレーターさんはネット断ってると仕

事できないですしね。素材とか見ることもあるから。

はいむら●そうですね。どうしても必要な素材とかもあったりします。

× × ×

三木●次行きましょう。TVアニメ第3期ついにオンエアいたしました。8年ぶりです。第1期2008年、第2期2010年、第3期が2018年、間に劇場版もありましたね。そのあたりの感想はいかがでしたか？

藤巻●どれだけ長く待っても、やっぱり第3期がちゃんと出たのはよかったことですよ。

三木●やっぱり藤巻さんとしても待ち望んでいた。はいむらさんは、どちらかというと、アニメには今までも一歩ひいたスタンスだとは思いますが、第3期がオンエアした感想みたいなものはありますか？

はいむら●オンエアの感想よりも、僕的にはこれでまたブルーレイのジャケットを8枚描かないといけないという(笑)。「これ大変なんだよなあ、毎月が図があるから、ったくよう」っていう感想が真っ先に浮かびました。

三木●なるほど(笑)。でもこれでもようやく8期の最後、第8巻まで映像化ということができました。22巻までやるって、通常のライトノベルで考えるとうるさなり期間なんです。大団円というか、普通、22巻くらいまでいく作品って、ほとんどもうないし、逆にそこまで行ってるタイトルは最後までアニメやれないですよ。2期とかで終わっちゃう。そういう意味で、「ここを映像化できてよかった」みたいなのはありますか？

藤巻●そもそも58巻が絶対アニメではできないことやろっぜっていう企画から始まっていたはずなので、最後シルビアがちゃんと出てる！ って(笑)。

はいむら●そういえばそうですね。オッレルスとシルビアがちゃんと出てきた。

三木●アニメにするとしたら、フィアンマまで出さなきゃいけないだろうっていうのは、僕のなかではあったので、そこは目標だったんですけどね。あの、2クールの中で出さなきゃいけないっていう、物理的な拘束がある中で、フィアンマが出ないまま終わったら、それはすごく消化不良になっていたと思いますね。

藤巻●第8巻で終わらせて、「3人そろってロシアに行くぜ」っていうので終わるのもありだったからしれないけど、そうだったら次は戦争しかない(笑)。

**三木**●それはちょっとちがう。

**はいむら**●「私たちの戦いはこれからだ！」っていうのを地で行くパターンですよ（笑）。

**三木**●はいむらさん的に他の思いは……

**はいむら**●そうだな、基本的にキャラデザインとしてはどうしてもキャラに注目しちゃうので、ちゃんとヴィリアンが動いて回ってるねとか思っていました。といってもまあちゃんが出てましたけどね。あとはレイヴィニア。単純にキャラクターおいしいですからね。ポジションがおいしいですよ。

**三木**●せっかくなので、映画にもどって話をしたいと思います。今回画集の中に映画のイラストも入っていますが（※12）、ストーリーがオリジナルということで、今振り返ったときの思い出とか、露地さん的にこういうことを気をつけて書いたな、とか何かありますか？

**露地**●今にして思えばキャラクターの名前をすごくめんどくさい名前にしてしまったなと。

**三木**●ああ、シャットアウラとか。でも印象には残ってますよね。はいむらさんにはオリジナルキャラクターのキャラデザで参加いただきましたが何かありますか？

**はいむら**●キャラデザで僕、覚えてるのは、パイロット服のつもりで出した清瀬アリスの衣装がそのまま使われちゃって……。アイドル衣装のものです。あれパイロット服のつもりで出したんですけど。

**三木**●いろいろな衣装が出てきましたが、どれでしょう？

**はいむら**●PVのワンカットに使われたんです。これやったときって僕がけっこうギリギリだったときで、もう衣装デザインデザインしてる状況ではなかったから、他の人に頼みましょうって言って、ゲストデザインの感じでいろんな方をお願いしたんですよ。

**三木**●色んな人にもらったデザインを、もったいないから全部使っちゃおうって露地監督（※13）がいろいろ場面で品を貸しているやってくれた。その中のデザインのひとつだったのかな、たしか。

**はいむら**●でも結果的には、あれで大成功でしたね。いろんな方にデザインをお願いしたっていうのは。

**三木**●なにげに、上条がはじめて宇宙に行ったのかな？

**はいむら**●上条、宇宙（そら）へ行く（笑）。

**三木**●本編では行きづらいところですから。神楽さんは特異小説とかでやってますから。

**露地**●最後のフロンティアは宇宙か精神世界しかないですから。

**三木**●ちょっとTVアニメ第3期の話にもどって、そのあと一方通行（※14）も超電磁砲（※15）も立て続けに始まり、とあるプロジェクトが再始動します。露地さん的には監督日録が本職とかいうかそういう形だと考えていると思えますし、実際に一方通行、超電磁砲は假こに露地さんも携わっているけど別の人が制作をしています、それがアニメになるというお気持ちはどんなものでしょうか？

**露地**●メディアミックスをするということは多くの人が集まってきて共通認識がないとできないものだから、自分のつくったものの外にも箱庭があって、姉妹都市みたいに連絡してどんどんでっかくなっていくというのは面白かったです。それこそ食事は向こうから小説にホームステイに来る感じですよ（笑）。

**三木**●たしかに、一方通行と超電磁砲で意識して合わせてたり変えてたりすることありますかね？

**露地**●あんまり意識はしてないような。どちらも科学ではあるんですけど、超電磁砲も暗いところは暗いじゃないですか。陰と陽ではないから。

**三木**●ああ、鉄道がらみとか。一方通行も全部データかっていうとそうじゃないですからね。意外とやっていることはカラーを意図的には変えてない？

**露地**●ただ一方通行の方が知ってないといけない前提情報が多いような気がします。打ち止めのあれとか。でもそれでもメディアミックスものとして成立しているということは、それだけ前提情報が浸透したんだろうなという気がしますね。

**三木**●なるほど。一方通行のアニメについてちょっと感想も教えてほしいです。

**露地**●きちんとド派手にバトルができていて、そこはすごいなと思います。上条にはできないことをやるというコンセプトが第一だと思うんですよ。超電磁砲も超電磁砲で、上条には入れないお嬢様学校に行くっていうコンセプトはあったと思うんですけど、一方通行の方がより上条ではできないだろうなっていうことをちゃんとド派手にアクションでタリタリしていつているから、そこは凄く興味がありますよね。

**三木** ●一方で、はいむらさんもまた別でスピンオフで他の作品が動いているということについて、どういう思いですか？

**はいむら** ●僕はお客さんとして見ています。

**三木** ●もちろんそれでいいんですけど (笑)。

**はいむら** ●僕は皆さんが思っている以上にお客さんとして見ています。

**三木** ●お客さんとして見ていて、印象に残った感想とか思い出とかありますか？ 例えば自分の描いたキャラがこんな風に使われたとか。

**はいむら** ●超超超超Sで青髪ピアスが出てきたときに一言笑いました。「お前何しに出てきてるねん！」って (笑)。

**三木** ●たしかに (笑)。他にはありますか？

**はいむら** ●一方通行だったら、脱獄部隊がわりとお気に入りです。

× × ×

**三木** ●スマートフォンゲーム「とあるIF」。少しこちらにも触れていきたいと思います。

**はいむら** ●いまのところだと何人くらい出てきてるんですか？

**三木** ●總らく100人くらいじゃないかな……。このゲームの売りはアニメのキャラだけでなく原作小説しか登場していないキャラも出てくる場所なんです。

**はいむら** ●実際にプレイしているのですが、キャラの差がかなりありましたね。FYPとかやっていると強いキャラクターがはっきりしています。

**三木** ●チームをどう構成するかが大事ですね。あとランキングに僕の名前を書くのはやめてほしい (笑)。ゲームも含めて15年やって変わったことはいろいろ聞きましたが、例えば身の回りで、自分は関係ないと思ったら街中にインゲックスがあったりとか、そういう思い出みたいな経験はありますか？

**はいむら** ●秋葉原の交差点に行ったら看板がありますよね、それ見ましたよ。

**三木** ●そういう感想いっぱいはいいです (笑)。

**はいむら** ●初めて話す話なんですけど、両巻第2巻の頃の話で、垣根幸督のキャラクターデザインを描いているときに後ろでおばあちゃんが見ていたんですよ。僕が仕事をするとところを見たって言い始めて。

**三木** ●めちゃくちゃ恥ずかしいじゃないですか！ (笑)。

**はいむら** ●ちょうどその時、垣根幸督のキャラデザをやらなきゃいけない時で、実家のパソコンと実家のしょぼいタブレットであわてて祖母のリクエストに応じて垣根幸督を描きました。

**三木** ●ネフテュスじゃなくってよかったですね (笑)。

**はいむら** ●だから、両巻第2巻にのってる垣根幸督のキャラデザ、あれは後ろにばあちゃんがいる状態で描いたやつですよ。そのくらいは家族にもらばれです。

**三木** ●鎌池さんで言えば、原稿書いているのを逐一全部家族に見られてるようなものですよ。

**鎌池** ●絶対に手が止まりますよ。ファミレスで書けないくらいですからね。

**三木** ●おばあさん、なんと仰ってたんですか？ うまいねとか？

**はいむら** ●うん、いわゆる典型的なおばあちゃんコメントですよ。「よう描けるねえ」とかそういう感じですよ。

**三木** ●鎌池さんはそういうエピソードありますか？

**鎌池** ●洞べものしなきゃと思って、「アレイスター・クロウリー」って検索すると自分のキャラクターの情報ばかりで。ああ、ひろがったなあって思いました (笑)。

**三木** ●それ面白い (笑)。

**はいむら** ●たしかにそうだ！

**鎌池** ●「禁書目録」もオリジナルのものよりも自分の作品が多くて (笑)。

**三木** ●そんなこんなで15周年で前巻@リバーヌまで行って、シリーズ累計だと50巻くらい行ってるわけですけど、さっきも言ったように作中の深み具合としては半年経っていないんですよ。鎌池さん、後悔をお願いします (笑)。

**鎌池**●だって学年が進むって怖くないですか？ 先輩後輩の関係変わるし、下手すると学校が変わってしまうかもしれないじゃないですか。上巻は高1で美琴が中2だから関係ないかもしれないですけど、中学から高校になったらキャラが変わってしまうわけですよ！ 怖くないですか？

**三木**●たしかに（笑）。

**鎌池**●保険が欲しいんです。私、何かと言うとヒロインをロングヘアーにするのって、いざとなったら愛切っちゃうばいじゃないってできるようにロングになりがちなんですよ。ショートってコケたらどうにもならないじゃないですか！

**はいむら**●そういうことなのかぁ！

**三木**●せこいです！ 今は学年の話はしてますけど、同じ理由で「夏を終わらせたくない」っていつも言うんですよ。

**鎌池**●水着で言えなくなるじゃないですか。

**はいむら**●前半球行けばいいじゃないですか。

**三木**●じゃあこれから反省はせずにこのままのペースでいくと？

**鎌池**●そうですね。

**三木**●はいむらさんの的には衣替えとか、冬服ということでもモデルチェンジをしなきゃいけないということもあると思うんですけど、その辺イラストレーターさんとしてちょっと意識していることとかありますか？

**はいむら**●やっぱり、実際の現実の状況と作中のなかで進んでいる状況とがどうしてもずれちゃいますね。ルーズソックスとかその典型なんですけど、キャラクターがゴラケーを脱しているのもその辺の典型。でもある程度仕方ないところもあるんですよ。次の創作的ではその辺をまるっとリファインしていくんだらうなというのを感じはします。当然もとの制約とかその辺は変わらないと思いますけど。

**三木**●なるほどじゃあその辺は意識的に、時代の流れとかを考えながらリデザインしているわけですね。

**はいむら**●メインキャラクターの機着は全部スマートフォンになりますよ（笑）。

**三木**●たしかにいいチャンスですもんね。では次に、お二人に読書目録で好きなキャラを1人ずつ聞いていきたいなと思っております。

**はいむら**●オルソラ。

**三木**●はやい（笑）。リバーズいったのに、まだオルソラから変わりませんか？

**はいむら**●あ、はい。

**三木**●いいんですね？ 途中で敵にもなっちゃいましたけどいいんですね？

**はいむら**●そこはいいんですよ。

**三木**●なるほど（笑）。

**はいむら**●だからイラストがあんなにたくさんあったんですよ。

**三木**●鎌池さんは？

**鎌池**●比較的新しい方だったらミナメイゼースとかですね。オルソラも好きではあるんですけど。

**三木**●思えば耳の、なるほど、それ理由ってあるんですか？

**鎌池**●『黄金』の途中の誰か一人をホスト役にするときに、やはり所業で攻撃する女性魔術師っていう記号の威力が半端じゃなくて（笑）。

**はいむら**●フックとしてこれ以上ないくらいわかりやすいです。キャラクター作る際にもたしかに明白な指針があったんで、デザイン自体はしやすかったですね。

**三木**●前期以降のキャラで、このデザイン個人的に気に入っているキャラとかありますか？

**鎌池**●なんとなくオティス、去暗、尉蘭あたりははいむらさんの好きな気がしますね。

**はいむら**●ああそうですね。尉蘭は完ぺきに僕の趣味です！ 尉蘭は新約の中だと最もやすいタイプのキャラクターですね。

**三木**●最後あたりまで重要なキャラでしたしね。

**鎌池**●やっぱり情報を扱うキャラは強いですよ、今の時代。

**はいむら**●尉蘭はイラスト化するとモノクロでうしろの方で、舞臺城のデフォルメ創あるじゃないですか、あれでできるんで、案というかキャラクターにデフォルメが合ってるんですね。そうだ、同じ傾向ならタリファバブル545もいた、要するにデフォルメ

することに意味があるキャラクター。前面よりもクリファズル545の方がもっとそれっぽいですね。

**三木**●ありがとうございます。では次のトピックです。西条には必ず藤澤さんの書きおろしの小説が収録されるのですが(※16)はいむらさんからお話をいただけますか？

**はいむら**●では、せっかくなのでこの西条の中に入っているキャラクターを主役にして建い。

**三木**●おお。

**はいむら**●ただ誰かというのはばつと……この脚本の範囲で収まっている。キャラクターが活躍した方が面白いであろうと。

**三木**●たとえば、はいむらさんがキャラデザして印象に残っているなというのがあれば、それを言っていたらいいですね。

**はいむら**●そうですね。黒夜とかだと学園都市で作れるかもしれないですね。

**三木**●大統領とか大丈夫ですか？

**はいむら**●大統領はだってアメリカにいるから(笑)。接点をつくるのが難しいと思うんですよね。

**三木**●米訪すればいいんですよ。

**藤澤**●お色気にいくいかざるべきですか。いかなかったら修正を組織的にやるかですよ(笑)。

**三木**●過去にいい奴だったとかあるのかなあ。若い時のカッコいい坊主さんとか。

**藤澤**●あの人一応衆生を救済したくてミイラになった人なんですから。

**三木**●あめ。なるほど。あとはどの時系列でやるかで結構違ってきますよね。

**藤澤**●でも、いまここで純愛アサその後どうかってやったらめっちゃくちゃ怒られますよね(笑)。なんで決めちゃうんだよって！

**三木**●あそこで書かないで欲しかった！ って(笑)。

**はいむら**●そう考えると黒夜あたりがわりとチョイスとしていいんじゃないですか？

**三木**●藤澤さんのそれは大丈夫ですか？

**藤澤**●大丈夫です。

**三木**●それでは黒夜主役として、このあと、174ページから始まります！ よろしくお願ひします。思ひ付きの企画がここですべて実現する。それが黒夜日録だ！ それが15周年だ！ ということで、最後にもう始まっているんですけども、劇物に対する今後の意気込みをよければ藤澤さんからお伺ひしてもいいですか？

**藤澤**●統括理事長がアレクスターから変わったって、ローラがいなくなったりして、今まで世界を支えていた人たちが、がらりと変わってしまうので、舞台を同じにしてもルールが変わると思うんですよ。そのへんのガウガウと崩れていく感じとか、今まで安定してはいたんだけど、そこだけで収まらない勢いみたいなのが出たらいいなと思います。

**三木**●じゃあ、まだまだ学園都市は事件がたくさん勃発するということですね(笑)。

**はいむら**●まあ、環境的にも起こりやすいですからね。

**三木**●気になることとしては、おなじみのキャラが出るのかとか、あっと驚くやつもきっと登場するから期待してね。みたいなのがあれば教えてほしいです！

**藤澤**●でも、やっぱり基本は同じキャラが高層とは思います。

**三木**●今までのあのキャラいるかな？ みたいな人も期待していい？

**藤澤**●そこは問題ないと思います。

**三木**●なるほど。はいむらさんも何か意気込みを何か一言いただけて！

**はいむら**●15周年、よくこんなに僕は続いたもんだな。と思っています。15周年迎っていると逆に絵が固まっちゃって、藤澤が利かなくなってる感も自分のなかではあるので、時間の問題とかいろいろあるんですけど、いじれるところはいじりたいなあ。それをなんかうまくいって変化に合わせることでできればいいなと思っています。

**藤澤**●リアル時間で上乗が生まれてから高校生になるまで経っちゃったわけでもんね(笑)。

**はいむら**●ほんとだ。

**三木**●そういえばそうですね。はい、まだ作中だと半年経ってないですね。最後にもう1つ、今までもは



いむらさんに聞いてはいたのですが、画像の書きおろしイラスト今週のテーマは選にしましょう？ 前は『新たなる光』でした。

はいむら●そうですね。前は『新たなる光』でした。

三木●今回もしよかったらリクニストがあると。

はいむら●カラーか。

三木●オルソラにします？

はいむら●いやあ、そういうのはちょっとわかりやすいものの方が（笑）。小説は僕から藤池さんにリクニストしたんで、藤池さんからリクニストがあれば。

三木●複雑怪奇なのはやめてくださいね（笑）。

はいむら●画家の範囲内が良いのではないのでしょうか。あんまり最近のだと逆になんか先を盗議しすぎちゃうんで。

藤池●小説は黒夜で科学だったから、新約第⑨巻あたりまでのグレンリン勢ぞろいとかどうでしょう？ トールとかマリアンとか。

はいむら●ウートガルズロキとか（笑）。それはやっておいたほうがいいでしょう。名前の出ているタイプのキャラクターはなるべく品しましょう。

三木●わかりました。じゃあ「グレンリン」ということでいきましょうか。

はいむら●本編で活版のなかったシゼンさんとかも（笑）。ビジュアルはあるのに活版はしなかったですけど。

三木●その書きおろしイラストはこの次のページにあるので割目せよ！ という感じで、懸念は以上で終了です。お疲れ様でした。

ありがとうございます。

※1 「特選巨画15周年」  
2003年4月に発行された『とある魔術の禁書目録』は、2019年4月でちょうど15周年を迎えた。2020年2月より新シリーズ『とある魔術の禁書目録』が刊行中。なお、本誌版は2019年発行の刊行本。

※2 「虹色」・「雨」  
第1巻1冊（雨のスペクトル写真：rainbow spectrum photos）、第2巻（虹のスペクトル写真：rainbow spectrum photos）の2巻。ちなみに「雨」とある巻の表紙イラストより「虹のスペクトル」から「はいむらさま」より、ハム太郎が変更されているため、本書版では両巻の表紙を差し替えている。

※3 「とあるOP」  
スマートフォンのOPゲーム「とある魔術の禁書目録 主題歌版」のこと。

※4 「PS4」  
ソニー・インタラクティブエンタテインメントが発売する家庭用ゲーム機（PlayStation 4）のこと。

※5 「スライダーマン」  
PlayStation 4専用ゲームソフト『Marvel's Spider-Man』のこと。正確には漫画ではない世界も、プレイヤーが自由に動き回ることができる「オープンワールド」であることが特徴。

※6 「フォトショップ」  
アドビシステムズの代表的な画像編集ソフト。正式名称は「Adobe Photoshop」。

※7 「SAI」  
GITS TEAMの発売するペイントソフト。正式名称は「ペイントツールSAI」。

※8 「クリップスタジオペイント」  
かんしゅが提供・発売するイラスト・マンガ制作ソフト。正式名称は「CLIP STUDIO PAINT」で最新のバージョンが新入る。

※9 「PSD」  
Adobe Photoshopで利用される画像ファイル形式。PSDとは（Photoshop Document）を指す。

※10 「リグデータ」  
Adobe Illustratorで利用されるファイル形式。

※11 「Adobe」  
アドビシステムズ株式会社を指す。上記の「Photoshop」や「Illustrator」・「InDesign」を代表し、印刷やクリエイティブに携わる主要なソフトウェアを多数開発していることから「阿」・とはいむらさまとかが呼称している。

※12 「両巻のイラスト」  
新巻版アニメ「とある魔術の禁書目録 エンペディアマンの巻」のイラスト。本誌118ページから123ページ参照。

※13 「禁書目録」  
アニメーション監督・原案者（にしきまき・ひらし）のこと。テレビアニメ「とある魔術の禁書目録」シリーズが放送されている。

※14 「一歩進め」  
テレビアニメ「とある科学の一方通行」のこと。卒業生であり一流の戦闘力家である「一方通行」が主人公。

※15 「禁書目録」  
テレビアニメ「とある魔術の禁書目録」のこと。卒業生であり一流の戦闘力家である原案者兼主人公。2013年4月～9月に放送された「とある魔術の禁書目録」から7巻のOPにアニメ化された。

※16 「書きおろし小説」  
本誌174ページから183ページ参照。



[illegible]



雑誌掲載10周年記念イラスト。2014年4月  
140号まで掲載するの41巻頃から意図してい  
ました。おはこは人々を魅了している妖怪  
であって動くというところはサイコロで機械  
書にないのて、丸腰なんですよ。



キャラクターデザイン(総作画監督) 高橋信司 2012年2月



Illustration by 2016年10月号の雑誌  
「魔法少女」シリーズ 2016年10月号



電撃文庫2000サイト4周年「大感謝フェス」  
 イラスト 2015年6月  
 ツェアザスターのキョウ子さんは、  
 完全1人暮らしで生活しています。  
 人知れず肉を品物や飲み物を  
 試している感じは否がたないですね。



31 クラゲ眼イラスト 2007年12月〜2014年2月



21 8月号の太田道弘のイラスト 2010年11月  
星トアース「星トアースの巻」  
—ですが、このページならやっぱり大野真希ですよねー(笑)。



『電撃文庫MAGAZINE』Vol.12掲載。2003年10月号  
掲載の「ふたりに「百合」を贈る」の一品。それ  
にしても、華やかで可愛らしい。何れもこのパー  
ソナルな魅力が光ります。







電撃文庫「とある魔術の授業」で主要登場人物と新人作家の顔合わせ 本文掲載 2015年2月



単行本1巻発売  
おめでとうございます!!

ははらきとあが



コミック新装イラスト 2022年11月〜2023年11月  
キャラクターデザインとイラストの両方で、電撃文庫の魅力を伝える。電撃文庫のキャラクターデザインとイラストの両方で、電撃文庫の魅力を伝える。電撃文庫のキャラクターデザインとイラストの両方で、電撃文庫の魅力を伝える。



前作の「The World God Made」のキャラクターデザインは、www.ghost.jp  
 「オオミツノ」は、企業やメーカー等、その商品やサービスを通じて社会に貢献している企業や、  
 企業や個人（個人）が社会に貢献している企業や、企業や個人（個人）が社会に貢献している企業や、







地上をフラッシュアタックしていつか世界を救ったのだ。 カサゴディア コート（口説） 2018年7月  
撮影の頃にも、空想は面白いのですが、ノベキの方ではどノリになってしまっていた。  
4つはもう少し研究をいっしょにやらせてほしい、イタリ国内での撮影を考慮する撮影で良ければこんな感じに。

[illegible][illegible]





騎士長マックス・ラングと  
「アリス」の初対面シーン  
（2006年10月7日）



[illegible]

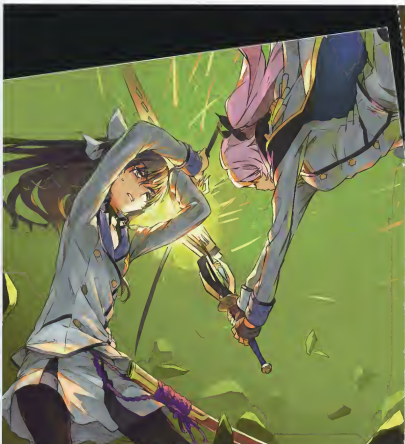




騎士団のメンバーたち、ついに世界を救うために。 / 3巻 / 100ページ / 2017年10月 / 全3巻 / 2017年10月



騎士団のメンバーたち、ついに世界を救うために。 / 3巻 / 100ページ / 2017年10月 / 全3巻 / 2017年10月



著者：アノニマス（匿名） 作画：山本 武（やまもと たけし） 18歳、2010年10月  
 キャラクターの衣装や髪型は雑誌誌上、オンラインゲームなどで見られるものを参考にします。  
 キャラクターの髪型は雑誌誌上、オンラインゲームなどで見られるものを参考にします。  
 漫画やアニメの絵は、絵師さんやイラストレーターさんなどから拝借させていただきます。









图1-1-10 动画《钢之炼金术师》中的角色  
图1-1-11 动画《钢之炼金术师》中的角色  
图1-1-12 动画《钢之炼金术师》中的角色





図 0 無装



図 1



図 2



第1巻「フルムーン」で登場した、ササノハのキャラクター。彼女の名前は「ササノハ・アリス」で、身長は155cm、体重は45kg、年齢は16歳。彼女は「フルムーン」のメンバーで、他のメンバーと一緒に「フルムーン」の活動をしている。彼女は「フルムーン」のメンバーで、他のメンバーと一緒に「フルムーン」の活動をしている。彼女は「フルムーン」のメンバーで、他のメンバーと一緒に「フルムーン」の活動をしている。

図 3



図 4



図 5



図 6



16-16



16-17



16-18

16-18



16-18



16-18



16-19



16-20

16-20



16-20



16-20



0002



0003



0004





全武器  
(左から順に)



手刀



第1巻 第1巻



トキオ・トキオ・トキオ  
戦国は戦国。  
トキオ・トキオ・トキオ  
トキオ・トキオ・トキオ  
トキオ・トキオ・トキオ



第1巻



第1巻 第1巻

第1巻 第1巻









『オメガ・クオア』アリス  
 ラストサマント、アーサー、クニアーサーと対面するシーン  
 © 2015 578



『オメガ・クオア』アリス  
 ラストサマント、アーサー、クニアーサーと対面するシーン  
 © 2015 578





富士系ファンタジア文庫

「リスタート・リミックス」シリーズ エスパーサーと飛竜アールン 12巻 (2018年7月)

「リスタート・リミックス」シリーズの中心にしている。

6巻目「リスタート・リミックス」が元々へ、展開している。

「リスタート」は、リスタート・リミックスとして少し異なり、別の世界にのびていく。

「リスタート・リミックス」とは、

自分の世界に「リスタート」を繰り返しているという……何ですか？



表紙のイラストは、文庫『1000の恋の物語』の挿絵で、キャラクターは、作者のファン、友人、そして自分自身。このイラストは、作者のファン、友人、そして自分自身。このイラストは、作者のファン、友人、そして自分自身。このイラストは、作者のファン、友人、そして自分自身。



新刊『ファンタジー・マガジン』  
「ファンタジー・マガジン」の「ファンタジー・マガジン」  
新刊発売 2012年7月

[illegible]

当店は、このシステム詳細を自分でサッパリ観望いたします。  
この無料一度りから、誰でも見解出来るかも「フリー」会員登録を  
願わして、是非一度。



Illustration by K. Kishimoto  
The character is a member of the  
The character is a member of the  
The character is a member of the  
The character is a member of the









「黒いカウチー」  
（黒いカウチー）



「黒いカウチー」  
（黒いカウチー）

「黒いカウチー」  
（黒いカウチー）



「黒いカウチー」  
（黒いカウチー）



「黒いカウチー」  
（黒いカウチー）



「黒いカウチー」  
（黒いカウチー）

「黒いカウチー」  
（黒いカウチー）



「黒いカウチー」  
（黒いカウチー）



「黒いカウチー」  
（黒いカウチー）

「黒いカウチー」  
（黒いカウチー）

「黒いカウチー」  
（黒いカウチー）



「黒いカウチー」  
（黒いカウチー）

「黒いカウチー」  
（黒いカウチー）

「黒いカウチー」  
（黒いカウチー）

「黒いカウチー」  
（黒いカウチー）





# 浅井 誠

・物陰に隠れてアツクサレるかな？  
・成長に期待して、マッスルが入ります。

# LR05 ラマシ

17歳4月、身長160cm



# フジの13歳

- ・成長が最速な特長。
- ・スリムで、背が伸びる。

# 17歳4月、身長160cm

・この子には最高の成長。  
・（アツクサレる、ムンムン  
・アツクサレる、ムンムン）

・アツクサレる、ムンムン  
・アツクサレる、ムンムン  
・アツクサレる、ムンムン



# 17歳4月、身長160cm

・成長が最速な特長。  
・（アツクサレる、ムンムン）  
・アツクサレる、ムンムン  
・アツクサレる、ムンムン  
・アツクサレる、ムンムン

# 17歳4月、身長160cm

・この子には最高の成長。  
・（アツクサレる、ムンムン）  
・アツクサレる、ムンムン



# 17歳4月、身長160cm

・成長が最速な特長。  
・（アツクサレる、ムンムン）  
・アツクサレる、ムンムン



# （A）（B）

・アツクサレる、ムンムン  
・アツクサレる、ムンムン

・成長が最速な特長。  
・（アツクサレる、ムンムン）  
・アツクサレる、ムンムン

# （B）

・アツクサレる、ムンムン  
・アツクサレる、ムンムン

・成長が最速な特長。  
・（アツクサレる、ムンムン）  
・アツクサレる、ムンムン





鎌池和馬

イラスト  
はいむらきよたか

創約

とある魔術の  
禁書目録  
SS



悪人なんてどこにでもいる。

例えばわたしがそうであるように。

びっくりしちゃったかな？ だけど大抵の悪人っていうのは、自分は悪の側の人間であるって名乗るこの瞬間が大の好物だったりするものなんだよ。もちろん素顔や本名さらして破壊するのなんか真つ平だよね。ほら、だから悪の怪人を装ったメッセージカードを附たり、動画サイトに盗みや殺しの動画を上げたりするでしょ。はっきり言えば意味がない。ないんだけど、サインは残す。ハイルスタノリターンとならうとも。つまりそういう事。

分かってもらえたかな？

君が今受けている電話、これ、この無料通話だって「そう」なんだ。わたしは自分を主張したい。ロボの耳を見ちゃった王帝御用達のオシャレさんみたいにと。わたしは！ そう！ 殺いようのない悪人なんだ！

こうして君の命を奪ってしまう程度にはと。

ボン！

というぐもった観望音があった。

道行く人の一人、その顔が左側に激しくブレた。というか、勢いに抗えず切切れみたいに真横へ倒れていく。街を歩いていた人達は、何が起きたか理解できていないようだった。タセで遅けようとしたところを邪魔された歩行者が前倒れするやいなや、それから激怒した怒鳴り上げて地べたに尻餅をつく。「！」

黒夜海鳥は背後で何か騒ぎが起きるのを感じながらも、わざわざ振り返るほど愚かでもない。今頃「確心地」はスマホや携帯電話のレンズだらけだろう。誰かが起こしたトラブルでも、撮影されてしまえばリスクは増す。特に顔面、眼輪、歯紋は致命傷だ。よってそのまま冷静に歩き去る。

悪人なんてどこにでもいる。

例えば効げな客観に不釣り合いな黒革のパンクファッションに白いコートのフード部分だけ顔に引っ掛けてマントのように広げている、この少女がそうであるように。

「新人生」という枠組みが消えても、いったん裏街道にどっぷり浸かった少女はなかなかそこから抜け出せない、というより、単直に言えば楽なのだ。完全に卒業するよりも、半端な位置に引っかかっていた方が。

「よいしょ」

駅前の雑居ビルにあるトランクルーム。その一室に銀色に輝くアタッシュケースを放り込むと、黒夜は黒い腕を持って外へ。これについては面歩きの

数中にすれ違った、荷物を着た男の手に握り込ませる。互いの目は見なかった。これで「仕事」は完了だ。

ただそれだけではつまらないので、現場近くにあったドラム缶型の警備ロボットの背後からそっと掌を当てて輪切りにしておいた。

緊急連絡。

掌から指輪まで圧縮した空素の塊を噴き出し、鉄筋コンクリートだろうが鉄塊だろうが液体のように新ち切る事ができる高圧能力だ。

無駄な警報を鳴らして仕事が大変だったアビールをしてあげば、それだけ後金の交渉は有利に働く。もちろん自分の仕事とバネないように気を配る必要はあるが。

「……手帳が盗割になってきたもんだ。駅のゴミ箱とかコインロッカーとかもう見るさくなったからなあ」

ちなみに黒夜は自分が何を運んでいるかは知らない。そもそも専門の運び屋でもない。職業的に悪事へ手を染めるなら、とにかく一つきりの突った専門職にはならないと黒夜は決めていた。

固定の領事は常に消耗を続けていつかは壊れ、取り外され、別の誰かと交換される。

どこの業界だって揺れて動く。

時代の流れに合わなくなりましてで切り捨てられては離れない。

だから黒夜海鳥は常に自分の立ち位置が流動的に移り変わっていくよう、己の自由に気を配る。不思議な話だが、自由を求める事で安全が守られる。自由と安全。この二つを軸に自分の欲望、焦り、恐怖といった感情へ丁寧に蓋をするのが生き抜いていくためのコツだ。

「……人間としての成長限界を無視したサイボーグだつーのに、腕分と頭の方はみみっちいもんだ」

自嘲気味に考えながら、黒夜は下向きと椅子に腰掛けた。オープンカフェに並べられたテーブル席の一つだ。格の悪い少女は言う。

「よお」

「なに、喧嘩の？」

向こうは特に何も考えていなかったのだろう。独りして携帯電話をいじくっていたピアスの男が怪訝そうな目を向けてきた。

真面仕上。

ガタイは良いが子犬のように走り回る年上の男だった、と記憶している。裏世界でもたまにいるのだ、愛想が良くて気が利くのに何故かアウトローに転落している人間が。

少女はにたりと笑って、

「尾行の確認。念のためけど」

「すーぱー忙いいうなら俺は帰るぞっ」

慌てて椅子から腰を浮かせようとした真面だった

が、テーブルの下で黒夜は足を踏んで地面に食い止めておく。笑顔で。

黒夜は少年のモバイルの裏面を指先でつつきながら、

「ケータイ、手放せない系の人間になったんだ」  
「痛って分かった付き合うよ！ の、ノーマルの平均時間なんか知らねえけど。けどまあ、メッセージが待ち遠しいと思える人はできたかな。ええこれっ、テーブルの下、ご褒美のつもりならもうちょっと観望の波を作って」

「そういうもんかね」

ぱつっ、というくぐもった音が店内から聞こえてきた。黒夜はちらりとそちらを見て、それから再び視線を戻す。黒夜は特に指図しなかった。

サイボーグというのは体の一部または全部を機械化した人間で、中でも必要な機能を全て体内に収めたものを指す。先ファイバーの神経はサイボーグだが、重金属の爪はそうではない。学園都市ではそういう風に定義されている。

だが黒夜は、自分の状態が少数派とは特に思っていないかった。

携帯電話やスマホが手放せない人間は、すでに電子機器を己の一部として取り込んでいる。もっと言えば、衣服や靴も同じ。単純に恥ずかしい云々ではなく、たとえ整備された大都市であっても本当に一糸纏わぬ装で生活しようとしたら凄死か暴走車でお陀仏コースまっしぐらだ。

道具がなくては生活できない。

そうなるように、人間が自ら頭や体を退化させる。

こんなのは新たな機能を獲得するため、まだ健康な体を切り取って高性能部品と組み替える行為と何ら変わらない。今はもう人間が道具に使われる時代で、道具を使えない人間は無能の烙印を押されて排除される時代だ。忌避感情を持つ者は、角度を変えれば自分も当てはまっている事に気づかない。殺人を憎む人間が死刑には賛同するのと同じように。

誰もが化粧で素顔を隠し、SNSに写真を上げる時は目玉を大きく加工する。すでに人間の自意識は持って生まれた体一個には収められないほど膨れ上がっているというのに、未だにアイドルの整形手術や脂肪吸引は認められない世の中らしい。

本音と建前が乖離している。

他人に夢を押し付けるなら、まずは自分が化粧をやめて素顔をさらせば良いものを。

〈くだらねえ〉

黒夜は国の中で喧いて、椅子の背もたれに体重を預けた。まあかそうなほっぺに己の手を押し当てるようにして頬杖をついていた。

と。

何やらこちらをまじまじと見ている少年の口から何かこぼれていた。

「……うむ、相変わらず見分けがつかねえオウリティだな。こんなのが普及したらおっ○いマウスパッドとかどうなってしまうんだ」

「このナリ見てとっさにソレが品てる回り、アンタもよくよく欲望に正直な野郎だな」

顔はくしゃっと歪めていたが、しかし実際のところ、黒夜はあまり気にしていなかった。

例えば自分の片腕を取り外されて、離れた所で知らない男にべろべろ舐め回されていたら気持ちは悪いと思う。特に、その腕が黒夜海鳥という名前で扱われていたら。ただ一方で、仮に自分と同じ規格の製品が丸ごと一体作られ、田中など全く別個の名前で取り扱われていたら、それは単なる他人……というか、黒夜海鳥のスロットに収まったパーツ構成ではない。自分の遺伝子を使ったってクローン人間なんか赤の他人であるのと同じ。何をどうされようが、自分ではないモノへ関心などない。悪なる少女は針の刺さった藁人形を見ただけで自分の胸部に痛みを感じるほど感受性は高くないのだし。

きっとこの感性の薄さが悪人なんだろうな、と黒夜は思う。

まともな人物ならクローン人間の扱いに胸を痛めたかもしれない。予備はついても、黒夜海鳥は「そう」ではない。

「ちなみに黒夜、お前なに頼んでる？」

「ウィンナーコーヒートフィッシュ&チップス」

「お国産ぐっちゃぐちゃじゃん。あと多分それ、永遠にやってこないぞ。小腹がすいているなら場所を変えた方がよい」

「えっ」

「厭でも良いよ。それとも三時間くらいもじもじしながら寂しい時間でも過ごすか？」

生程のくぐもった音はカフェの店内からだった。

客が慌てて飛び出してくる様子はないから、おそらくフロアではない。厨房か事務室か。とにかく裏方で、またもや誰かが顔を吹っ飛ばしたのだろう。

(そうまでしても手放せないもんかね。『体の一部』ってヤツは)

特に詳しくは話さず、黒夜は紙面と一緒に席を立てて街を歩く。何も知らなければ、柄の悪いパンマンとその後を必死になってついていく健気な妹にでも見たかかもしれない。

そういう約束や待ち合わせだった訳ではない。

気分だ。

こいつを執念に染めない人間は、裏世界では生きていけない。

学園都市は人口の八割が学生という特異な街のは

ずだが、独断でも人が多いのが不思議だった。行き交う社会員に募金の呼びかけをする好青年、たくさんのお祝儀を詰めた手押しリボンを保母さんが押しているところも見かける。こんな時間帯に医療機器開発の募金の呼びかけをしているという事は、それだけ人の往来が多いという話でもある。単位や出席日数が取ればそれでよしとか、ほぼ全寮制に近い学園都市までやってきてわざわざ通信制を選ぶなど、学校と一口に言っても色々なスタイルがあるという訳か。

興味が無いというより許けずばいと判断したのだろう。胡散臭い募金箱の横をスルーしたピアス少年に小顔な黒夜はこう言い放った。

「誤画ってさ、悪人って訳じゃないよな」  
「……車を盗んで銭を構えて、こんなにどっぷり浸かっておいて？」

隣で反応に困ったような顔をしている新画だが、黒夜は自説を曲げなかった。

「必要性に背中を押されて、だろ。アンタは悪人に好かれる人間なんだよ。だからエリア全体を見回すと、悪い場所に見えるように見えちゃう。事件現場に立ってるヤツはみんな危険人物ってな。ただ中心に立ってるアンタ自身は、意外なまでに染まっていけない。フロロロなのは周りの方なんだ。武装無力者集団にせよ、『アイテム』にせよ」

「……」  
「いるよな、愛想が良くて気が利くのに『暗部』に転落する跡だけなヤツ。大方、人を切るタイミングを見失って思慮にずるずる引きずり込まれる人種なんだろうけど。ようは、捨てられないゴミ屋敷の主サマって訳だ」

もっとも善だの悪だの口やかましくなったのは、『外から焼き付けられた思考回路』が固まっているのだろうけど、と黒夜は自己分析する。

『暗部の五月計画』。

能力の使用効率を底上げするため、学園都市第一位の思考を部分的に植えつけ、一定以上の成果を上げた個体が黒夜海島という事になる。

外食については特に小洒落たこだわりは持っていなかった。仕事の後だ、座って小腹を満たせるなら何でもいい。という気でチェーンのバーガーショップに向かう。

「ん？ 俺が悪人に好かれる人間だって理解だと、こうして隣を歩いているお前もすっかり慣れているって事なんじゃ」

「余計な揚げ足はいらんだよ」  
唇を尖らせて、軽めにローキックを入れつつ。  
中に入り、黒夜は奥のテーブル席に陣取る。洗面は洗面で、コーヒーやちよっと鍋めめる軽食を頼み

にカウンターの方へ向かったらしい。  
「……っかしまあ、フライドポテトでコーヒーって飲めるものなのかね？」

そんな風に考えて椅子の背もたれに体重を預けた時だった。

聞き慣れた着信音があった。  
ポケットから携帯電話を取り出して耳に当てると、前置きもなくこんな声があった。

『悪人なんてどこにでもいる』  
「あ？」  
『例えばわたしがそうであるように』

声色は調整されていた。  
元々携帯電話の音声は『そのもの』ではなく電子的に調整された『疑似的な音の塊』なのだが、そうではない。おそらくキーボードで打ち込んで押揚を自動調整したものだ。元から肉声ではないのだから、いくら解析に挑んでも絶対に声紋は採れない。  
(使用量計の中になったもんだ)

黒夜海島は性質な順になったが、手も足もないただの音が先手を封じた。  
「ちなみに耳元から電話を盗ぎけない方がよいよ。例えば〇〇センチ以上離れたら、その時点で悲惨な爆発が起こるかもしれない」  
「……」

「赤外線かな、超音波かな？ 君の息遣いや微弱な磁力でも読み取っているのかもしれない。最近の携帯電話には最初から色々なデバイスが埋め込まれているからね。紙の説明書もなくなったし、ひょっとしたらそんな機能がある事すら知らないまま機種変更の時まで使い倒している人もいるかもしれないな。ともあれ言いたい事は一つ、今この状況で使っている方法を精査して逆手に取る事は、できない」

席に座ったまま、黒夜はざっと回りを見回した。空いたテーブルを拭いているバイト、最新モデルのスマホを手にしてはしゃいでいる女子高生の集団、どこにゴミ捨てするのかわからずにおろおろしているおばあちゃん。人はたくさんいるが、この中に紛れているとは限らない。まるでこちらの動きを先回りして察知するようにも聞こえたが、黒夜の行動を観察するだけでなく防犯カメラ越しでも横わないし、特に見ないまま当てずっぽうで鑑査を制しているだけかもしれない。

「ご用件は？」  
「特にない、と言うのが一番効果的かな？ 恐怖を与える側としては」  
(ふうん、諷刺はしないんだ)  
どっちみち、質問して正しい答えが返ってくる

も思っていない。つまり予想される相手の反応は二つ。即座した動機を語るか、そもそも答えないかだ。後は相手が何を隠そうとしているかを笑ひ品せば情報を得られる。

ちなみに黒夜のどろどろした経験から得た大雑把な見方だと、黙っている方が目は振まっている事が多い。波幅にしゃべりたがる輩については、顔面を一発殴れば本質が見える。そこで黙るようならただのメッキだ。

（ま、読解すれば命が助かるほど甘い状況でもないだろうけど）

『ただ、全く意味のない行動でもないんだ。人物は誰でも良いんだけど、行為自体には意味がある。状況は分かってもらえたかな。気取って始まった事ではあるんだけど、こちらとしても途中でやめる訳にはいかない』

「なあ」

「知ってもらいたいんだよ、わたしという人間を！ まあ素顔や本名をさらして自滅するつもりもないんだけど。でもそういうのって大事でしょ？ 知ってもらいたいというのは君個人の話じゃなくて、君が吹っ飛ぶところを見た周りの人達も含めて意味なんだけどね。だって、これから死ぬ人にだけ秘密を明かしたって無駄のしようがないだし」

「なあ、なあ、なあ」

黒夜海島は苦笑していた。

携帯電話を耳に当てたまま、背もたれに預けた体感も戻さずに彼女はしゃくりと走る。

「ひょっとしたらアンタはそうやって主導権を握っているのかもしれないが、すでにこの時点でアンタは敗戦をさらしてる」

「？」

「気づいておえーのか？ セッティングしたのはアンタだ。そしてルールを決めた人間ってのはな、いつか破られると不利益を被る人間でもあるんだよ。だから首謀者を苦しめる方法はいつでも目の前に転がってる。全日当りの請負だったら日一杯敵討ちまえば良いし、解体の知れない船に客室殺人の予告状が届いたらみんなでよそへ旅行に品かけるだけで計画は破れちゃう。馬鹿デカイ地下室に閉じ込められてのガスゲーム？ 穴でも掘って地上に出たら？ くだらねえ、現実の殺し合いで律儀にルールを守ってもらえんとでも思ってるのか」

つまり、だ。

顔も見えないクソ野郎が一番困る行動とは、これしかない。

この場合の正解は、

躊躇なく携帯電話を懐合いへ放り投げる。だ、

パン！！ という乾いた振動が黒夜の鼓膜を思い切り叩いた。

宣告通り、周から一〇センチ離れたところで客席なくモバイル機器が破裂したのだ。逆の人間であれば、その衝撃波だけで鼓膜どころか顔蓋骨まで丸ごと砕けていただろう。

（リチウムイオンバッテリーか。ま、生身の人間一人を殺すなら十分かもしれないけど）

しかし黒夜海島には関係ない。

顔をざっくり裂かれようが、携帯電話を放り投げた指先がおかしな方向にねじ曲がっているのが、消耗品は消耗品だ。

『ようは完全ランダムで人が死んでいく訳だ。受け取った時点でおしまいなら、こればっかりは素人もプロも関係ない』

驚いたようにこちらを振り返ったまま固まっている客や従業員には興味が無い。

慌ててやってきた浜園が全く無意味な事を叫んでいた。

「うわっ、何だそれ？ ……不良品が何かか？」

「……確かに」

呻きながら、黒夜はフードだけ被っていたコートの中に右手をそっと差し入れた。クローンと違って隠微的にアウトという決まりはないが、壊れた指先から金属フレームや配線が剥き出しになっているところを携帯電話のレンズで押さえられるのはあまり得策ではない。映画の中の大物と違って、現実の悪人は悪目立ちを嫌うものだ。ギャングが組織ごと地下に潜り、政治家が角を丸めて無個性な笑顔を振りまくように。

不良品。

それにしてもサイボーグに向けて言うような言葉か。と黒夜海島は心の奥で苦笑していた。

人としては間違っていないから反応に困るのだが、

すでにヒントは贈った。

本来なら『そういうもの』は全て回収しなくてはならないはずなのだが、稀世な少女は今回に限ってわざとそのままにしておいた、というもある。

深夜の話だった。

昼間、最後まで不思議そうにしていた供面仕上については放っておいた。ヤツは悪人ではない、と言ったのは黒夜自身だ。周りに悪人が集まってくるというだけの一般人なら、ここから先を見せる必要はあるまい。

先ほどのハンバーガーショップはすでに閉まって



いて、明かりも落ちている。しかしそんな中でも何やらガサゴソと蠢く影と気配が認められる。

「……カメラは死んでる。しかも死んでる事を警備会社には伝えないようにしている訳だ。ここまで来たともはやお作法だな。犯罪者が名刺を置いてどうすんだか」

必要ならこじ開けるつもりだったが、出入口の鍵は最初から開いていた。

不自然に。

「よお」

「ッ!!」

パンッ!! という乾いた破裂音があった。

テーブル際のすぐ下でうずくまって何か作業していた影が振り返りざまに何かを投げ、黒夜の掌がそれを真横に弾いた音だった。

より正確には、掌から直線的に伸びた……恐るべき圧力で固められた気体の刃。

望遠鏡。

サイボーグなんていうのは、痴だ。そもそもこいつを――〇〇・〇%以上の出力にブーストするための手段として半分以上をぶっすり作り替えたのだから。

爆弾代わりのスマートフォンは、切れるというよりすり潰されて消えていった。

「愉快犯は『記念品』にこだわる」

にたりと笑って、両夜は言い放った。

汚い店だ。学園都市では至る所に清浄ロボットが徘徊しているので、大雑把な床掃除は機械に任せてしまっているのだろう。時給で働くバイト達はテーブルや調理台など、ドラム缶には届かない所だけ磨いてとっとと帰ってしまうのだ。

なので、こういう事に手が届く。

「爆弾の現場に後から駆けつけて、ソファの隙間とかテーブルの下とかに飛び散った血や肉をせせせと拾い集めていた訳だ。行き先はホルマリン？ あんなに透明な樹脂で固めてキーンダーかな？ 何にしたってサイボーグの部品を保存するにゃあ条件が合わない気がするけど」

実際のところ、学園都市には特にこういう変態が多い。

有能な能力者のDNAマップ解析に繋がる主の一滴、髪の毛一本には莫大な価値が宿る。そういう共通認識が蔓延しているものだから、ちょっと何かがねじ由がると異常な蒐集癖に化けてしまう。

平直に言って、黒夜に興味はなかった。

何故愉快犯だと分かったのか。そう装ったプロではないという根拠や確信は？

馬鹿か、本物のプロはこんな低予算外視でリスクな真顔などしない。一つの殺しに対し、割に合

わないのに笑っているのは素人だけだ。プロは仕事で殺すのだから、こちらの顔の中でちょっと報酬の計算をしてみればこの辺は簡単に仕分けできる。しかしだからと言ってランクが低いとは限らない。むしろ素人の嫉念に取引は通じないのだから、いったん張り付けられるとことんまで面倒臭い。

だがたまたまだろうがランダムだろうが、こいつが嗅みついてくるなら叩き潰すまでだ。この手の愉快犯は、仕留めきれなかった獲物にこだわる傾向も強い。見えない位置から延々リベンジ戦を求められて、暇人特有の得た執念であれこれを探られるのは面白くない。探られたらまずいものをたくさん抱えている素人からすれば、特に。

「わたしは……」

暗がりですくまる影から洩れたのは、女の声だった。電話越しに耳にした音の確りもしっとりして、粘ついた執念を感じさせる。

両夜よりも大分年上だ。

指先で触れればそれだけで身を震やす、そんな危険な妖しさを滲ませていた。平たく言えば滅法美人なストーカー、といった感じだろうか。

「……わたしは、全てを楽しみたかった」

「他人の肉片からDNAマップを取り出したって、あらゆる能力を付け替えられる訳じゃないよ」

実世界において、頭りは牽制だ。ジャブ以前に観戦席からレーザーを対戦者の目に浴びせるようなもの。親切に付き合ってベースを乱される必要はない。よってトークの途中でもお構いなし。突き出したのは逆の手で拳銃を取り出した両夜は、至近距離から数発連続に発砲した。

こんなもので殺せるとは思っていない。

(ま、スマは爆弾だけで終わる訳はないわな)

だけど手の内を曇くなら真正面から分かりやすい火力をぶつけるのが一番だ。すでにこちらは弾薬庫を取り出した後だが、まともに打ち合う前に少しでも情報は手に入れておきたい。

耳をつんざくような破響音とは別に、びすびすという生っぽい音があった。灼熱の銃弾が肉を突き破るものだ。

相手はかわさなかった。分厚い壁で弾いたりもしなかった。

だが四五口径の銃弾を正面から五発も浴びておいて、まだその女は止まらなかった。

「勝も悪も！ どちらも殺さず楽しみたかった!!」

ガシャガシャガシャッ!! という機械音が連続した。

女から、ではない。

彼女を取り囲むように、複数の機材が集まる。体に突き刺されたチューブは輸血や点滴、空気を切り

強く会の正体は聞いた街を高く賛合用ステープラーの針か。

生命とは活動だ、と周夜は考えている。

生身だろうが外付けだろうが、その活動さえ回っていれば命は保つ。

究極的に言えば、心臓が破裂したって心臓の代わりに別の何かが血液を循環とせれば人間は動く。重要なのは血圧、酸素、痛覚信号などの数字であって、そこさえ守れば人間は死を忘れて徘徊を続ける。

周夜の場合は、必要な機構は全て体の中に収めた。しかしこの女は違う。体の中に入らない分は全て外に出して連れ回している。一つ一つは、ホテルや病院などにある小さな治療庫くらい。これに小さな車輪をつけて転がしている、という感じだ。

つまりは、

「生命維持装置の極化、か」

「丸くて駄の少ない善人としては最適だったんだけどね？」

改めて待暗がりを凝視すれば、女は薄い手術衣だった。その上から肩にカーディガンを引っ掛けている。異様に細い足首にはタグ付きの輪のような何かが光る。どこかの病院か研究所から抜け出てきた、といった風情だった。

長い黒髪は先の方でリボンか何かでまとめられている。

歳は上と言っても高校生くらいの年齢だ。となると何かしらの能力者でもあるのだろう。この街で暮らして、完全にまっさらの未成年というのは道に存在できない。

タグに書かれた名前は無意味味。

普通と考えれば馬鹿正直に本名とは思えないが、読めない。何しろ気配れに人を選んで遠隔で監視し、後になってからその骨や肉片を拾い集めて消えないレコードを放しがる凶悪犯だ。理屈だけで動いているとは思えない方が正しい。

あれだけ撃たれて特に苦しんでいる様子もない。しかしこれも、固りの機材から刺かえ込まれているのだろう。例えば蚊やヒルは獲物を噛つて血を吸っているが、その間、獲物の方が痛みを感じる事はない。麻酔成分のある分泌物を併用しているからだ。

光澤はにたりと笑って、

「だけどこの立場だと、悪い悪人としては振る舞えない。二つって両立できないのよね。片方は断められても、もう片方に手を出そうとすると純度が落ちる。せっかく集めた汗のピラミッドが崩れちゃう」

「ま、世の中的にはたった一回もルール違反をした事ないか、あるいはそれ以外か、の二つしかグループがないからな」

「そうそう、ほんととは誰でもつまみ食いしたいはずなのね。人生は一度しかないんだもの、どうせなら目の前に広がる全部を獲さずにはおちやもたないでしょ？」

肩を震わせ、己の肩を抱いて、全身に五つも風穴を空けた女はおかしそうに笑っていた。

直後、ぎゅい」と複数の機械音が連続する。

「だから!! わたしは方法を考えてくちやならなかった!!」

まだ何も触れていないはずだった。

にも拘わらず周夜の左胸が不自然に膨張し、手鏡が内側から膨らんだ。慌てて放り捨てようとするが、膨らみが上手く動かない。もたついている間に膨張した手鏡が破裂する。大爆をやられたらしい。眉もぎゅぐゅと震える。

「電磁波!! 医療用のくせにどれだけば撒いてんだ!! CTかMRIの応用かもしれないけど!!」

左手は銀色の中身が溢れ、五臓もねじれて使い物にならない。半身以上を工業製品化したサイボーグである周夜は元々電磁系の能力に弱いという側面が確かにあった。

「基本は善人、すでにある積み立てを崩さずに悪人の味を楽しむにはどうすればいいか!! 面倒だったなあ、瓶の中にはやりたい事がこんなに詰まっているのに!! だけと考えるのは楽しかった。工夫って面白いよね。ヘリコプターがあれば山頂まで一分だとしても、でもやっぱり自分の足で山は登りたいものではないか!!」

とらに複数の医療機器が轟く。

人を救うための機材は、大抵の場合悪用すれば人を殺せる。輸血用の血液は型の合わない他人に注入すればそれだけで致命的な事態に陥る猛毒だし、縫合用のステープラーは組織無厚に臓物の体を縫いつけて動きを止める悪趣味な瘡痍道具と化す。

「だから、顔の見えない監視屋になろうって?」

「手首に返る手ぶえはないけど、でも安全は安全よね。それに感触が全くないって訳でもない。電話越しでも感情は伝わる。凶悪犯、危機が、恐怖が!!」

ここで得たデジタルな感覚にこの手で触れられる残骸物を重ねれば、手に入れた感触は「本物」として完成する。わたしは清らかで優しい善人でありながら、醜くで怖い悪人としても人生を楽しむ!!」

脳や心臓も込みで、正面から鉛弾をいくらか叩き込んでも光澤意味は死なない。

命を支える機材は牙を剥けばいくらでも人体を切り崩して始末できる兵器に変わる。

馬鹿げた妄想臭い不死者のようなしぶとくと悪利装置の存在さ。これに加えて、向こうはモバイル機器を自由に威嚇させる「母体」まで使ってくる。

考えて。  
黒夜海鳥は一言言った。

「何だ、こんなものか」

それはあまりにも呆気なくて。

耳にしていた手術衣にオーディオの女の方がぼかんとするくらいの声色だった。

「特殊な能力を持っている訳でもなければ見た事も無いゲテモノ兵器を使う訳でもない。不死に一番近い生命維持装置？ そんなモン旧世代の潤滑油りが丸ごと細胞組織にまともて着替えてやがったぜ。ようは人工臓器を、体に収まらねえ大容量にまで磨きませたってだけだろおがよ。技術としちゃコンパクトにまとめたサイボーグより二世代以上古い」

「……」

「せめて異常な犯罪を犯してDNAマップを盗むとか、社会不安を煽ってA1M3拡散力場の集合体へ望む方向から刺激を与えろとか言って欲しかったモンだが、まさかそのまんまとはなァ。ナニ？ 一周回ってすこいでしょパターン？ ここまで仕掛けがねえと野良犬にでも噛まれたと思うしかねえってのか、ええオイ？」

「君のそれ、なに？」

光澤からは、純粋な疑問があった。

自分の全てが小物扱いされた事よりも、興味の方が前に出た。強く。

「アァ」

黒夜はまだ無事な右手の人差し指で自分のこめかみをつつきながら、

「『第一位とかいうクソ野郎の思考の一部を補え付けられたおかげでな、能力の効率上がるンだが、クソ野郎のクソな部分がクソみてえにこぼれ出ちゃう」

「面白いッ」

どちらかがどちらかを殺す。そんな場面ではありえない笑顔が飛び出した。

「何それ悪業そのものの移植？ そんな方法があるなら善も悪も頼み放題じゃない」 もはや自分の手を汚して善としての経験値を稼ぐまでもない。悪人の業を直接手に入れば、三段飛ばしで善とは何かの「結論」を掴み取れるんだから」

パシャパシャパシャ！！ と金属音が連続する。鋸、ドリル、ペンチ、レーザー。骨を加工するための、ほとんど工具に近い外観の医療器具が次々と箱から飛び出した。もはや骨の知れない巨大なエビやカニの群れのような。作り物の面蓋骨をこじ開け、ナマの脳細胞の塊を取り出してでも方法を調べる。女の目は頻々と輝いていた。

黒夜は呆れたように息を吐いて、これだけ言った。  
「……そんな面白いモンでもねえンだがな」  
「わたしもそれ言ってみよう」

空気を裂く音が交差した。

結果二つに裂かれて転がったのは、箱形の医療機器の方だった。ただし一つ二つが壊されても女は困らない。さらに一つ、上からぽとりと落ちて即座に失った分は補充された。

いいや。

「上……？」

黒夜が見上げてみれば、天井一面、ブドウ農園のように機械がぶら下がっている。

機械には気配がない。

(ヤバッ……)

黒夜が思った直後だった。

一気に全ての機械が天井から降り注ぎ、黒夜の小さな体を覆い尽くした。

こんなものかな、と黒夜海鳥は考えていた。

大能力相当の能力者。サイボーグの肉体を利用してさらに限界以上に出力を底上げした。

だけど、それだけだ。

極少数の能力者であっても世界でただ一人と呼ぶほどではないし、サイボーグなんてそれこそ量産される機械部品だ。そもそも本来転倒で、この方向で己を实らせても求めていた『特別な自分』なんか絶対に手に入らない。

戦闘思考のモデルとなった第一位。

あるいは戦いの日々の中で顔を合わせた何人かの人間。ああいう唯一無二の手覚えは無い。しかし自分の体を切り捨ててサイボーグ覚を施した以上、ここから別の道へ移る訳にもいかない。やろうと思っても、できない。

平たく言えば詰んでいた。

詰んでいる状態なのに先へ進んでいるのがおかしいのだから、こんな不条理の人生、止まれと言われれば止まるのが妥当なのかもしれない。

ただし、

(まあ……)

もう一つだけ、

(そこで限くできねえから、私も私で普通に悪人なんだろおけどな)

足掻きの手段がない事もない。

ガガッッッ！！ と。

閃光と共に、崩れた。



明夜海島に何重も何重と覆い被さっていた機械製品の一部れが、一瞬にして吹き飛ばされたのだ。彼女の使っている密着爆輪、ではない。明らかに炎の熱に炙られ、ねじくれ曲がり、砕けた残骸は真上の天井に突き刺さって、そのまま落ちてこなかった。

「なに、それ」

「ああ」

ぼろ、ぼろ、ぼろ、ぼろ、と。

明夜海島の、まだ無事だったはずの右腕が壊れていた。何かしらの爆薬を握り込んだまま起爆させた訳でもなさそう。壊れ方が違う。

機能は切っても、何故か痛みが消えない。

顔面に貫かれた腕部パーツとは別の所を伝って熱の波紋が這い寄るように。

「言っても分かんねえよな。科学的な能力者がオカルト的な魔術を使うとどうなるか、なんて」

そんな経験も、ある。

サイボーグの体でなければ致命傷を負っていただろうが。

そして明夜は知っている。

他のあらゆる人類にとって、こんな自分の体をズタボロにする超常現象なんぞ害でしかない。知りたくもないだろう。だけど、こと手術次の女に限って言えば話は変わる。絶対の魔性でもって心を蝕んでいく事はもう分かっている。

「……」

たった一回の人生だから、「全て」を楽しみたいと光澤は言っていた。



$\frac{1}{2}(\frac{1}{2} + \frac{1}{2}) = \frac{1}{2}$
--



1949-1950: 18.02



6. 九六二 - 集報情況



**附录**



● 見聞の中心に在らず  
● 見の源は彼方に  
● 一物を以てよく知れり

Yes, I prefer to work



※ 色指定は、モノ（色）に変更。  
※ 本誌には有りませんが、  
別冊としてご用意しております。

Figure 1.1



【参考文献】



1992



恒乳期型



△700' 45" = 72

[illegible]

1994年12月 第11卷 第12期





【人物・衣装】



※ 色見せのため、イラストでは省略して描く。  
 上下ともにツリメのような式で描くことが、  
 (セーターとズボンとの中間、おたのしみ)

【人物・衣装】

髪型



髪型



【人物・衣装】



【人物・衣装】



※ 武器は描き出しは省略せず、  
 武器の描き出しは省略せず、  
 武器の描き出しは省略せず。

【人物・衣装】

髪型



髪型



【人物・衣装】



※ 武器は描き出しは省略せず、  
 武器の描き出しは省略せず、  
 武器の描き出しは省略せず。

【人物・衣装】



【人物・衣装】



※ 武器は描き出しは省略せず、  
 武器の描き出しは省略せず、  
 武器の描き出しは省略せず。



アリス・キャロル



リリー・カーン



アリス・キャロル



アリス・キャロル

※リリーのデザインは、アリス・キャロルのデザインです。



アリス・キャロル



アリス・キャロル



アリス・キャロル

アリス・キャロル



アリス・キャロル



アリス・キャロル



アリス・キャロル



アリス・キャロル



1-10-01



2-10-01

各二層の山形の頭を履いた  
もののローリング  
と平のローリングの間に  
ヤ 各層は各々が 各々  
ローリングの間に各々



3-10-01



4-10-01



5-10-01



6-10-01



7-10-01

8-10-01



9-10-01



10-10-01



11-10-01



12-10-01



13-10-01



服装 01



服装 02



服装 03



服装 04

服装 04

服装 04

服装 04



服装 05



服装 06



服装 07



服装 08



服装 09



服装 10



服装 11



服装 12



「レベリア」の衣装



「レベリア」の冠

「レベリア」の衣装



「レベリア」の衣装



「レベリア」の衣装



「レベリア」の衣装

「レベリア」の衣装

- ・「レベリア」の衣装は、
- ・「レベリア」の衣装は、



「レベリア」の衣装は、  
全身の衣装で、  
「レベリア」の衣装は、  
「レベリア」の衣装は、

「レベリア」の衣装



「レベリア」の衣装は、  
「レベリア」の衣装は、  
「レベリア」の衣装は、

「レベリア」の衣装



「レベリア」の衣装は、  
「レベリア」の衣装は、  
「レベリア」の衣装は、



「レベリア」の衣装



「レベリア」の衣装

「レベリア」の衣装は、  
「レベリア」の衣装は、  
「レベリア」の衣装は、



アリス



アリス



アリス



アリス



アリス



アリス

アリス

アリス



アリス

アリス



アリス



アリス



はいむらきよたか画集3

# CROSS

2020年5月9日 初版発行

はいむらきよたか

原稿

原稿提供

デザイン

西遊堂一 [2725 1ac]

発行者

西田 聡

発行

株式会社KADOKAWA

〒100-8177 東京都千代田区富士見2-13-3

TEL 0370-86-4836 (ナビダイヤル)

印刷・製本

区川洋装株式会社

協力

株式会社スクウェア エニックス

博多太王編集部

宮千晃ファンタジア文庫編集部

PROJECT-INDEX

PROJECT-INDEX II

PROJECT-INDEX MOVIE

PROJECT-RAILGUN 5

Printed in Japan

ISBN978-4-04-013130-7 C00398

© Kyotoku Matsura 2020

© Kazuma Kamachi 2020

クレジット

アニメ (とある魔術の禁書目録) p112

C漫画原作/アスキー・メディアワークス/PROJECT-INDEX

アニメ (とある魔術の禁書目録II) p104-111 p113

C漫画原作/アスキー・メディアワークス/PROJECT-INDEX II

アニメ (とある魔術の禁書目録III) p114-117

C漫画原作/角川書店/アスキー・メディアワークス/PROJECT-RAILGUN 5

劇場版アニメ (とある魔術の禁書目録 エンデュムシオンのお祭) p118-123

C漫画原作/アスキー・メディアワークス/PROJECT-INDEX MOVIE

株式会社スクウェア エニックス (3D制作/リオンインターナショナル) p125

ESQUARE SHX CO., LTD. All Rights Reserved

宮千晃ファンタジア文庫 (いくつかの世界を創るため) - アオシロディア コーポレーション

©Koushi Tachibana©Spiralssj/Kyotaku Hamura

宮千晃ファンタジア文庫

「ワイルドランド」アーカイブズ/グズアーサーと物語マシーン p123-173

©Tachibana/Kyotaku Hamura



電撃文庫 <https://dengekibunko.jp/>

お問い合わせ (アスキー・メディアワークス プラント)

<https://www.asakusaworks.jp/> | 「お問い合わせ」へお送りください

お内容によっては お答えできない場合があります。

おサポートは日本国内のみとさせていただきます。

© Japanese text only

本書の複製・複製 (コピー・スキャン・デジタル活用) 及び二次複製物の複製は、著作権法上での内訳を踏まえています。  
また、本書の代り複製物の複製に利用して複製するの禁止。たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

複製はカバーに限定してあります。



ISBN978-4-04-913130-7  
C0076 V3200E

定価 単体 3,200円(税別)

KADOKAWA



9784049131307



1920076032004

